

特集

人形のまち岩槻に人形博物館オープン

人形と暮らす



クローズアップ P6 | にぎわい交流館いわつき P9 | 税の申告をお忘れなく 他

各種手続き、窓口に関するお問合せなどは

さいたまコールセンター（8時～21時、年中無休） ☎ 048・835・3156 FAX 048・827・8656

市報さいたま2月号は、令和2年2月1日を含む前4日間で、全戸に配布しています。なお、2月号は62万6,700部作成し、広告料収入を差し引いた市の負担は、1部当たり26円（配布費用を含む）です。
2020年（令和2年）2月号 Vol.226 | 発行：さいたま市 編集：広報課 〒330-9588 浦和区常盤6-4-4 ☎ 048・829・1039 FAX 048・829・1018

人形と暮らす

人形が部屋の
ひとすみにあるという
時間と空間があってもいい

— 林宏一さん



PROFILE

林宏一さん(75)

さいたま市岩槻人形博物館長。早稲田大学で日本美術史を学ぶ。埼玉県立民俗文化センター所長、埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課長、埼玉県立博物館長などを歴任。平成21年から岩槻人形博物館開設準備委員長。埼玉県文化財保護審議会委員も務め、県内の文化財保護行政と関わりが深い。

林宏一さんは日本美術の研究者で、2月22日にオープンするさいたま市岩槻人形博物館の館長です。人形が身近にある暮らしを人形のまち岩槻から再提案したいと語る林さんに、オープンに懸ける想いを聞きました。

暮らして共にあった人形

— 人形との出会いを
教えてください。

子どもの頃から五月人形を飾ったり、雛人形を飾ったりしていましたから、生活の中に人形がずっとありましたね。私は特に仏像を研究していて、人形に触れる機会がよくありました。なぜなら、もともと信仰のためにあった人をかたどったものが、遊びの道具や、慈しむ対象として生活の中に入ってきた

のが人形なんです。ルーツは信仰にあるんです。

岩槻を初めて訪れたのは、40年近く前になります。宿場町で岩槻城の城下町という雰囲気は今以上に色濃く残っていました。全国屈指の人形産業がまちを支えているという印象でしたね。私自身、孫娘のために雛人形を岩槻で買いました。

人形文化の発信と修理保存

— なぜ岩槻に人形博物館が
できたのでしょうか。

まちに人形文化が強く根付いていたことはもちろんですが、直接のきっかけは、西澤笛畝(※1)という人形の収集家のコレクションを岩槻人形協同組合が取得したことです。それがさいたま市に寄贈され、博物館を作ろうという流れになりました。準備期間中、有名な人形収集家である浅原革世氏(※2)のコレクションを取得したり、ほかの方からも寄贈を受けたりして、所蔵品の幅と質を高めることができました。

当館は、人形専門としては国内初の公立の博物館です。役割の一つは、人形文化の発信基地になること。人形のまち岩槻で

人形に対する美意識が、今と微妙に違います。ですから、江戸時代の人形を見ると、怖いと感じる人もいるようですね。今の人形は目元、口元といった表情を時代の変化に合わせて変えたり、衣装を豪華にしたりして

—古い人形はどんな特徴がありますか。

人形の魅力を見直すきっかけの提供

後世に残していくために、人形の修理を専門とする方を招き、修理部門を作りました。

情報を収集・発信することで、人形文化を見直してもらいたいですね。江戸時代といった古いものから、近現代、あるいはフィギュアのような新しいものまで紹介できたかと考えています。

もう一つは、修理保存センターとしての役割です。人形は紙や木、胡粉(※3)など材質的に弱いものでできているので、保管方法を間違えるとカビが生えたり、ひびが入ったりします。そうすると、神社やお寺で供養して、最後はお焚き上げで燃やしてしまうケースが多いんですね。歴史的に価値のあるものは二度と作り直せません。

います。

私が人形の中でも惹かれるのは、御所人形(※4)です。表情や身体からだのしぐさで見ると語りかけてきますね。その気配を私は魅力だと感じます。かつて人形は身近にあり、手

に取って、あるいは目で見て楽しむものでした。今はデジタルの時代ですけれど、人形が部屋のひとすみにあるという時間と空間があってもいい。当館を訪れ、人形を生活に取り入れるきっかけにしたいと思います。



- ※1 西澤笛助 1889～1965年。日本画家。コレクションは質が高く、幅広いジャンルにわたる。
- ※2 浅原革世 1926年～。コレクションには華やかで優美なもの、小さく愛らしいものが多い。
- ※3 胡粉 貝殻から作る白い顔料。
- ※4 御所人形 江戸時代から主に京都で作られた幼児の人形。大きな頭とふくよかな体つきが特徴。

博物館の裏の仕事?!

修復技術者の工具箱

修復技術者・新井榛名さんに

お話を伺いました!

さまざまな人形に対応できるように修復技術者個々の工夫に満ちた道具たち。処置部分の整形作業にメスではなくカッターを使う方もいるのだそう。

左から面相筆、メス、千枚通し、ピンセット、糸切りバサミ



博物館といえば、展覧会や講演会、ワークショップなどの普及事業を行う施設というイメージをお持ちの方も多いことでしょう。もちろん、これらは博物館の中心的役割ですが、一方で、表からは見えにくい裏方の仕事もとても重要です。

一つは、所蔵品の保存管理。いわば、人形の「健康管理」です。博物館の所蔵品は、100年、200年という長い時間を経てきた歴史的な人形が中心になっています。そのため、空調管理された収蔵庫で保管し、メンテナンスも行っています。館内に「修復室」を設け、文化財修復の専門家が修理やクリーニングを行い、人形の健康状態を保つ努力をしています。

もう一つは、調査研究です。1点ごとに所蔵品の調査カードを作成し、いわば人形の「カルテ」を作ります。また、これらの資料が、どのような歴史のなかで生まれ、現在まで伝えられてきたかを調べて研究し、その成果を展覧会や図録などの刊行物に反映します。

これらは地味な仕事ですが、貴重な人形を次世代に継承しつつ、その魅力を発信していくための大切な柱となっています。



歌舞伎の演目をモチーフにした作品。人形作家の先駆けとして知られる久保佐四郎の作。



やね
矢の根



いぬばこ
犬笥

犬笥は僕の形をモチーフにしているんだワン!



中に物が入る犬型張子。安産の象徴である犬を象り、嫁入り道具や雛段の飾りとして用いられた。

ごしよにんぎょう
御所人形
とりあわせ
鶏合



鶏合は雄の鶏同士を闘わせる遊び。鶏を放つ直前の様子をとらえた勢いある作品。

博物館のコレクションの中から
え
選りすぐりの名品をご紹介します!

いちまつにんぎょう
市松人形
じょし
女子



人形図鑑

岩槻人形博物館の所蔵品は日本画家である西澤笛畝のコレクションを柱としています!



▲西澤笛畝

作者の二代光龍斎は本作のような女子の市松人形を得意とし、日米親善の人形交流における答礼人形の製作に貢献した。

こさんびな
古今雛



18世紀後半に江戸で生まれた古今雛は、江戸時代後期に全国的に流行し、現在の雛人形につながる様式となった。ガラスを入れた目が特徴。

したんぞうげ
紫檀象牙
ざいくまさえ
細工蒔絵
ひなどうぐ
雛道具

鳳凰や宝尽くし等の意匠が蒔絵で描かれ、紫檀や象牙などぜい沢な素材で作られた逸品。11代將軍徳川家斉の息女のものとの伝承も。



かみにんぎょう
加茂人形
かいらいし
傀儡師



木目込の技法で作られた加茂人形には、市井の風俗を模したものも多く、本作は、人形廻しの芸をする様子をつえたもの。側面の糸を引くと、三番叟がくるくる回転する仕掛けも遊び心にあふれる。

人形のまち岩槻で人形の魅力を再発見！

岩槻人形博物館へ行こう！

2月22日に開館する岩槻人形博物館では、人形や人形文化に関する資料の収集・保存、調査研究を行い、展示・教育普及活動などを通して、多くの方々に人形への親しみを持っていただけるような企画に取り組んでいきます。



INFORMATION

岩槻人形博物館



開館時間

9時～17時（2月22日は10時から）
※入館は30分前までです。

休館日

月曜日（祝・休日を除く）、年末年始
※臨時休館日があります。

住所

岩槻区本町6-1-1

観覧料

一般 ……………300円
高校生・大学生・65歳以上 ……150円
小・中学生 ……………100円
※展覧会により観覧料が異なる場合があります。

交通

岩槻駅から徒歩約10分

問合せ

☎ 749・0222

㊚ 749・0225

🌐 <https://ningyo-muse.jp/>



今月の表紙

「つくね」と呼ばれる
手で丸めたような座り姿の
御所人形。
子どもたちの可愛い
声がいまにも聞こえて
きそうですね。



博物館開館記念イベント

ギャラリートーク

誰でも当日参加可能！

学芸員による展示解説

日時：2月23日(祝)・24日(休)、
3月1日(日)・15日(日)・20日(祝)
13時30分～（30分程度）

費用：無料 ※観覧料が掛かります。

企画展

開館記念名品展I

雛人形と犬宮・天児・這子

期間：2月22日(土)～4月12日(日)

費用：無料 ※観覧料が掛かります。

博物館が所蔵する雛人形の名品が勢揃い！人形のルーツとされる希少な犬宮や天児、這子も展示します。迫力と造形美に目を奪われるはず！

講演会

お雛さまのお召しもの

期間：3月22日(日) 14時～15時30分
内容：河上繁樹氏（関西学院大学教授）
による雛人形の衣装に関する講演
定員：60人（抽選）

申込方法：3月2日(月)（消印有効）までに、往復はがきで、行事名、郵便番号・住所、氏名（ふりがな）、電話番号を、〒339-0057 岩槻区本町6-1-1 岩槻人形博物館へ。

市内の人形イベント

岩槻のまちが人形一色に まちかど雛めぐり

日時：2月22日(土)～3月8日(日)
場所：岩槻駅東口周辺商店街

商店などでその店に古くから伝わる人形が飾られ、人形のまち岩槻を巡りながら、人形文化に触れます。また、吊し雛の特別展示や、人形等にちなんだ期間限定商品の販売などが行われます。

問合せ：
まちかど雛めぐり実行委員会
☎ 070・1535・8177
岩槻区コミュニティ課
☎ 790・0122 ㊚ 790・0261

子どもたちの健やかな成長を願って 流しびな

日時：3月1日(日) 10時～14時（雨天決行）
会場：岩槻城址公園（岩槻区太田）

ひな祭りのルーツとも言われる伝統行事。子どもたちの無病息災を「さん俵」に乗せた雛人形に託して流します。
※さん俵は、当日、会場で販売します。また、琴の演奏、鼓笛隊のパレード、人形仮装なども行われます。

問合せ：
流しびな実行委員会 ☎ 757・8881
岩槻区観光経済室
☎ 790・0118 ㊚ 790・0260



市報さいたまの感想を「#市報さいたま」をつけてTwitterで投稿してください！
市ホームページやはがき（〒330-9588 浦和区常盤6-4-4 広報課）でもお待ちしております。